

10年 補助金なんて 必要ない? 愛車の メンテナンスプラン

●写真は2007年式のクラウン コンフォート Gパッケージ。登録から2年間で19万7000kmを走っている。だが、徹底されている車両管理や室内清掃、1週間に1回行うシートカバーの交換など内外装ともにきれいな状態を保っている



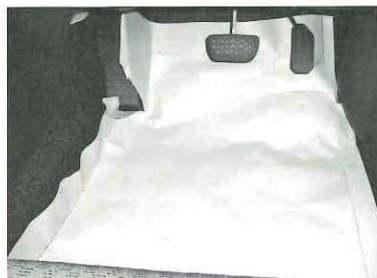
総走行距離10万、20万kmは通過点!? 長持ちの秘けつはタクシーにあり!

東京都内で4つの拠点を持つタクシー会社「日の丸交通」では、1日の平均走行距離が250~300km、1年間で10万km弱を走行するという。客を快適に目的地まで乗せる仕事だけに、タクシーならではの特別なメンテナンスでもあるのでは?

調子を維持するポイントを聞くと、「タクシーだからといって特別なことはしていません。点検・整備を徹底的に行っているだけです」。タクシーは本来なら3カ月に1回の法定点検と12カ月に1回の車検を実施すればいいのだが、日の丸タクシーでは1カ月に1回の点検・整備を行い、さらにエンジンオイルを必ず交換しているという。オイル交換をすらかしないかで、長く乗れるかが決まるそうだ(日の丸タクシーでは乗り心地が低下する5~6年で、車両を入れ替え)。そして、もっとも重要なのがタイヤの空気圧やキズの有無のチェック。乗り心地にも影響があり、燃費や安全面でも大切なポイントだ。

愛車を快適に乗り続けるためのアドバイスをもらおうと「決められた点検・整備をすることが大切。きちんとチェックすることで、調子が悪くなる前に予防整備ができ、大きな故障を回避できます」。だれでもできることをしっかりやるのが長持ちの秘けつなのだ。

愛車にぴったりのマットが 必ず見つかる!



何年も使っていると汚れやすり切れが目立ってくるフロアマット。そこで、マットの交換を考えるならカーマット「カロ」を選んでみては。国産、輸入車問わず、数多くの車種にぴったりサイズのフロアマットをラインアップしている。マットは素材やデザインが異なる「クレスト」、「クローネ」、「ウーリー」、「フラクシー」、「シザル」の5タイプを設定。写真は天然素材のシザル麻を使った「シザル」で7色から選べる。マットを交換するだけで室内のドレスアップもできるのだ。

ラインアップになれば

●特注マットの製作途中。クラフト紙などにマット形状を書き込んで型紙を作ればオリジナルマットができるのだ

オーナーにとって使いやすい形状のマットも特注できる

膨大な車種のフロアマットをラインアップしているカロ(8月3日現在2699車種)の適合表に、愛車がない場合やオリジナル形状のカーマットが欲しいときでも大丈夫。クルマに合わせて型紙を製作すれば、特注マットを作ってもらえるのだ。用意

するのはクラフト紙やポスターやカレンダーなどのしっかりした材質の紙を用意し、クルマに合わせてマット形状のラインを書き込んで型紙を作るだけ。豊富なデザインやカラーが設定されているから、自分好みインテリアが手に入るのだ。

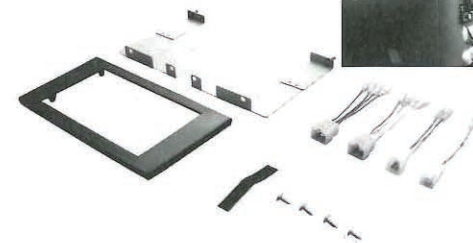
◎カロ ☎03-3374-1955 www.karo1980.jp/

市販オーディオを美しく装着

特徴的なオーディオパネルを採用しているなど、車種によっては、市販のカーAVを装着すると透き間ができるものがある。そこでカナック

に装着することができるのだ。また、リバイバルカーAV取り付けキットシリーズでは旧型車用をラインアップしている。ホームページでは取り付けキットがない車種の調査協力を募集している。愛車のキットがない場合はチェックしてみては。

●写真は5代目(1986年~95年)マツダ・ルーチェのカーAV取り付けキット



●BMWミニのように特徴的なデザインオーディオパネルでも透き間のない取り付けができる

◎カナック企画 ☎03-5660-1234 www.kanatechs.jp/



メーカーが行う リフレッシュ プラン

古いクルマのリフレッシュで気になるのが部品の有無。NSXにはその心配は今のところない。ホンダがNSXのために用意しているリフレッシュプランは、サスペンションや

エンジンの調整などの基本リフレッシュから外装や内装、足まわりのリフレッシュまで、長く快適に乗り続けるためのメニューがそろい、部品の長期供給の準備も整っているのだ。